

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター 輝なっせ			
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		～	2025年3月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	59名	(回答者数)	58名
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		～	2025年3月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日の親子療育の実施	・単独療育の際のお子さんの様子を伝えるだけではなく、強みや特性に合った関わり方、成功体験を伝える事で、家庭での般化に繋げやすい視覚的ツール等を用いて、具体的に伝えるよう努めている。	・親子療育の際、もっとご家族同士の関わりが出来るよう「ピア活動」にも積極的に取り組む予定。
2	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインに沿った「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもさんの支援に必要な項目を療育チームで検討し選択、具体的な支援内容を設定している	・ニーズ整理表やご家族の聞き取り、アセスメント表を鑑み、児発管が原案を提案し、療育メンバーで具体的な支援内容等を検討し個別支援計画を作成している。 ・見立てを行い、療育スタッフ全員がそれぞれの見方での意見を出し合い、次の支に活かせる振り返りを実践している。 (PDCAサイクル)	・幼児期の子どもさんの意思の尊重を重きに考え、寄り添った計画内容であり、「やってみよう!」「楽しい!」に繋がるよう心掛ける。
3	経験年数のあるスタッフの配置	・チームでのスキルアップを意識して療育を実施しており、個々でのスキルアップをチーム全体でのスキルアップに繋げる意欲が強い。	・今後も、柔軟性を持った考え方で、スタッフ間でのコミュニケーションを図り、ご家族や関係機関との連携にも相乗効果となるようチームビルディングを高める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・安全計画に基づいた各種訓練や事故防止マニュアル、緊急時他風マニュアル、防犯マニュアル等の整備を行っているが、保護者の皆さんへ周知や説明が不十分である。	・安全計画においては令和5年度より整備しており、各種訓練においては紙面にて実施後、写真付きで周知しているが、マニュアル等は玄関に設置している。全ての保護者の皆さんが確認しやすい状況ではない為、工夫が必要。	・訓練等は、保護者の皆さんへ紙面にて報告・周知を行っている。来年度も同じ形で行う予定。マニュアルについては、全ての保護者の方に確認して頂ける方法を工夫する必要がある。
2	地域の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流	・現在、地域の保育園、幼稚園と併行通園している利用児が多く、常日頃から園等との交流はできていると考えている。 ・今年度、初の取り組みとして事業所交流を目的とした運動会を開催している	・今年度初めて行った地域の事業所との交流会を今後も開催できるように計画していく
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援センター 輝なっせ
------	-----------------

公表日 令和7年 3月 28日

利用児童数 61名 (59件) 回収数 58

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	
						ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	53	4		1	・目の行き届く広さで、活動スペースも十分にあり ・広くて活動に応じて壁上でボールをさせたいだたりパワフルに活動が出来ます ・それぞれ遊びたいスペースがありいいと思う ・広いスペースで遊び活動のびのび出来る ・人数が多いときは多少狭く感じる ・活動内容で狭く感じる時はある。ボール後の着替え等 ・トランポリンが少々多い	・クラスの数や子どもに合わせて部屋の調整を行い活動を行っている ・スペースが確保できない場合は部屋を分けるなどの対応を行っている
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	55	1		2	・親子保育の際、多くの職員の方が関わってくださり、ありがたく思います ・支援を必要としている時にスタッフの方がそばで支援をしている ・単独保育の様子、家でのアドバイス等頂けて助かっている	・1クラスの人数を配置上対応可能な人数で調整をし保育を行っている ・子どもの調子によっては個別に対応できるように調整もしている
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	55	2		1	・一部のスペースなど子どもの気になるところには目隠ししてあったり、他にも視覚的に分かりやすくしてあると思います ・段ボールを使用して気になるものが視界に入らないようなどとも配慮されている ・同じクラスに何人か子どもが居ても関わらせてあげたいアイテムを作成して下さり、対応をしていただけるので安心できます	・環境調整として気になる物は部屋から除去もしくは、パーテーションを使用し目隠しをする等で対応している ・子どもの年齢に合わせ、活動の内容や遊びを提供している
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	57	1			・いつでもきれいな空間で、遊具やパーテーション等必要な際すぐ準備してあったと思う ・きちんと清掃されておりとても気持ちよいです	・必要に応じてパーテーションを使用し過ごしやすい環境設定を行っている ・毎回保育後は掃除、消毒を行い快適に過ごせる空間をつくっている
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	57	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	57	1				
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	57	1			・保護者だけでなく保育園とも連携して共有できているので心強い ・こちらのニーズを汲み取られていると感じました	・利用前に保護者からニーズの聞き取りを行い、職員間で分析を行いその子に合う個別支援計画を作成している ・保護者だけでなく、了承を得て保育園とも個別支援計画をもとにご自分を担いでいるのかを共有している
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	58				・わかりやすく示してあり、我が子の課題や再観がどう関わっているかよくいなど改めて考える事ができた ・難しいような課題は、本人が出来そうなところまで支援したり出来ていると思う	・利用前に保護者からニーズの聞き取りを行い、職員間で分析を行いその子に合う個別支援計画を作成している ・療育を行う中でその子に合う支援方法を探して支援を行っている
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	57	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	54	1		3	・単独も親子も様々な内容があったと思う ・年齢に応じて必要なプログラムが組まれており、集中する機会が増えた ・今日は何するんだろうと毎回楽しみます	・年齢や子どもに合わせて、段階を踏んだ内容を取り入れている
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	33	6		19	・利用期間が短いため分かりません	・事業所交流を目的とした運動会を開催している ・今年度初めて行い今後も開催できるよう計画していく
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	56	1		1	・利用開始時にきちんとしていただいた	・契約書に記載しており、契約時に口頭でも説明を行っている
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	57	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	51	4	1	2	・子どもの様子を見る事が出来るだけでなく、職員の方の声掛けや活動内容を見れるので、客観的にどんな関わりがいいのか考えるきっかけになっている ・家での様子など聞きながらアドバイスがもらえている ・去年初めて参加し大変いい勉強になりました	・年に一度ペアレント講座を行っており保護者へ案内し参加希望を募っている ・講座へ難しい保護者へは日頃親子保育の中で話を聞き家まで取り入れられそうな支援を提供している
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	55	2			・連絡帳で単独療育の留意点を伝えていただくだけでなく、親子療育の際連絡帳に内容を伝えていただけたらいい ・親子療育の際、話を聞いてもらえてとてもスッキリします。安心します ・親子療育に行けないので・・・先生と話がなかなかできません ・丁寧に教えてくださっておりこちらも勉強になります	・日々の様子を連絡帳やメールで保護者へ共有できるようにしている ・親子療育へ参加が難しいご家庭へは連絡帳を通してのやり取りをメインで行っている
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	57	1			・親子療育の際に職員の方が支援に関する話をしてくださることで、ちょっとした悩みなども話をすることが出来る ・行われている ・家での関わり方などアドバイスがとてもためになります ・分からない事に対する対応方法を聞くことが出来活かしています	・親子療育で直接話を聞く機会があり、日頃ご家庭での様子の聞きその場で情報共有を行うことが出来る ・希望があれば療育時間外での面談を行い、子育てについての話やその他の相談ができる場所の提供もしている
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	57	1				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	26	11	1	16	・夏祭りやBBQと楽しかったです。子どももいつもと違う雰囲気楽しんでおりました ・親の一緒に楽しめる楽しかったさんあって楽しかった ・夏祭りや運動会のときに保護者同士の連携が支援されていたと思う ・パーベキューの時はもちろん、普段の親子療育の空き時間などで他の保護者の方とお話しする機会がありました	・今年度から親子で参加できる場所を増やし、保護者同士で交流できる機会を設け取り組んでいる ・日頃、親子療育で同年代の保護者同士が交流できるような職員が関わり取りの場を設けているが、全クラス合同で親子参加型の企画を行う中でさらに保護者同士で子育てや就学について話をする機会も増えている
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	51			3		
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	54					・活動の様子を写真で送って下さったり、とても安心です ・内容によっては、メール等で連絡を行い情報共有に努めている
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	48	2		3	・行事の始めの連絡はありがたい ・単独療育の時の子ども様を分かりやすく書かれていて感謝している ・普段の連絡帳を通して、様々な事を伝えていただき、また親子療育の際に詳しく教えていただきました	・日々の様子を連絡帳やメールで保護者へ共有できるようにしている ・法事のFacebookやInstagramでの発信も定期的に行っている

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	53				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	35	3		15	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	36			17	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	44	9			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	53				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	45	8			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	45	8			<ul style="list-style-type: none"> ・まだ、慣れないこともあり一人で行くことに抵抗もあるが、終わった後は楽しかったと言っています ・親子療育（午後→）があることを前もって伝えると今すぐ行く！と言って、怒ることもあるくらい来所を楽しみにしている様子 ・親子の時は保育園のお遊戯が好きなでそこはとも帰れそうです ・毎回行った後に次はいつ？と聞いてきます ・基本的に楽しんで遊んでいる様子です。できない事や、プレッシャーもあるかと思いますが、いつか来る『やらなければならぬ』の為の練習だと思い、本人には頑張ってもらいたい ・毎回、楽しく参加させていただいています。お休みの日も事業所を遡ると行きたいと言います ・利用開始から行き流りもなく楽しみにしているようでした。家に帰ってから子どもんことをしたか話してくれました ・気分がムラがあり行きたくないという日もある ・毎回言うことをするので、本人も出来るかな？頑張るとしっかり取り組んでいます
	29	事業所の支援に満足していますか。	50	3			<ul style="list-style-type: none"> ・いつもあたたく見守って下さりありがとうございます ・一緒に成長を見てもらい大変満足しています。ありがとうございます ・子どもだけでなく保護者の方にも寄り添って下さり感謝しています ・支援に関する専門的なアドバイスを分かりやすく教えていただき大変ありがたいです

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター 輝なっせ					公表日	令和7年 3月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9					
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・令和7年4月に公表予定			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		・5領域の項目に分けアセスメントを行っている			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9					
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9					
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9					

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		・関係機関や保護者からの要望があった際に行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	9			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	9		・支援の質やチーム力向上の為、定期的に児童発達支援の専門職に来て頂き療育の様子やスタッフの動き等の指導を頂いている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9			
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	3	・利用児メンバーは地域の園を利用しており、地域の中で日常活動していることもあり、交流の機会は設けていない。	・今年度初めて行った地域の事業所との交流会を今後も開催できるよう計画していく	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・単独療育の様子等、親子療育の際お伝えし共有に取り組んでいる。 ・必要に応じて、個別に連絡をし電話やメールで情報共有もしている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		・センターとして圏域にも案内し年に一度開催している。	・開催に伴い、(関係機関に)オブザーバーや受講される保護者への声掛けを数か月前から始め参加者を募っている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		・保護者からの聞き取りが主であるが好きなき事、得意である強みを活かした計画を作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・親子療育や必要に応じて訪問や面談をおこない支援を実施している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		・親子で取り組むBBQやクッキング等を開催し交流する機会を設けている。	・就学以降も繋がりが継続できるよう、今後も親子での企画型活動を提案させて頂く。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・対応としては面談や訪問させて頂き、迅速に対応している。親子療育で振り返りを行う等迅速に対応するようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			・安全計画に基づいた訓練やマニュアルの整備を各種委員会で実施、更新等に取り組んでいる。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			・BCPの策定及び避難訓練も定期で実施している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			・医師の指示書のある方は現在いらっしゃらない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			・玄関に設置しているが、周知しやすい方法を検討したい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			・法人でも虐待防止研修等に取り組んでいる。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9			・身体拘束についての考え方や適正委員会等の取り組みについても説明し、児童発達支援計画に記載している。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター 輝なっせ		
○保護者評価実施期間	令和6年12月 1日	～	2025/2/31
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17件	(回答者数) 15件
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日	～	2025/2/31
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1件	(回答者数) 1件
○訪問先施設評価実施期間	令和6年12月1日	～	2025/2/31
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	11件	(回答者数) 9件
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	■ご利用児との信頼関係の構築。	■アセスメントを丁寧に行い、状況や状態を把握するとともに、実際の療育場面を観察し関わりを形成することで、訪問時にスムーズに受け入れられる体制を整える。	■随時、モニタリングを行いながら、訪問場所以外での関わりも積極的に行う。 ■具体的で分かりやすい説明を行う。 ■契約内容等、計画など定期的に説明を行う。
2	■保護者様との状況の共有。	■直接の面接に加え、早期に資料データを共有することで、ご家族が「いつでも」「どこでも」「簡単に」情報を確認できるよう工夫している。 ■気になることがある際には、SNSを活用し、リアルタイムで「相談」「対応」「共有」ができるよう取り組んでいる。	■計画を基にして、今後の支援の方針を具体的にわかる様に示す。 ■「誰もが」「気軽に」「安心して」活用できるように保護者様との信頼関係を更に、構築していく必要がある。 →保護者会等の開催。
3	■関係機関との状況の共有	■関係機関ともリアルタイムで地域での過ごし方や状況、状態を共有し、共通の意識を持って支援ができるよう、できるだけ早く情報提供を行っている。	■一方通行にならない様に、関係する機関側からも適宜、必要な情報が受け取れるシステムを構築していく必要がある。 →専用の相談窓口など ■関係機関ともリアルタイムで地域での過ごし方や状況、状態を共有し、共通の意識を持って支援ができるよう、迅速な情報提供に努めている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	■支援の提供 「見立て」「知識」「スキル」	■保護者様、関係機関からの具体的な聞き取りと具体的な計画・目標の設定。 ■保護者様、関係機関との状況と目標の共有方法。 ■訪問先の状況や現場で支援している先生へ、遠慮しすぎて上手く伝えられない事がある。 ■解決する優先順位の共有。	■計画的な聞き取りを、保護者様や関係機関の負担とならない様に工夫しながらも情報を収集し、お互い目標のすり合わせ、設定を行う。 ■効率的なアセスメント。 ■打ち合わせと段取り、振り返りの調整を工夫する。
2	■保護者様、関係機関への説明とプレゼン能力。 「わかりやすさ」「手軽さ」「取り組みやすさ」	■経験不足。情報不足。プレゼンスキル。 ■保護者と顔を合わせた共有する機械が少ない。 ■現場ファーストを行う気持ちになりすぎて、上手く伝えられない。	■視覚的な教材の準備。 ■相手との信頼関係の構築。面談機会の設定。 ■丁寧に具体的な説明スキルの上昇。知識の習得。 ■伝えて方の工夫。 ■研修への参加、知識、スキル、知恵の習得。
3	■環境・体制整備 「教材」「定期的な面接」「職員体制」	■具体的に示して提案できる教材の準備不足 ■計画的なスケジュール管理とアポイント。 ■人的な課題。	■豊富な教材の事前準備と具体的な提案。 ■計画的なスケジュール調整、管理。 ■定期的な面接を設け、具体的な説明を設ける。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター 輝なっせ

公表日 令和 7年 3月 1日

利用児童数

令和7年 3月 1日

回収数 15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	8	2		5		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	11	3		2	■親の知らないところでのちょっとした変化を細かく報告してくれるので助かる	
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	15				■前月には、翌月のスケジュールをLINEで教えてもらっている。	
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	15					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	15				■こどもの状況が少しずつ変化中であらゆる案を出してくれる。	
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15				■保育園の先生方と試行錯誤しながら報告書が作成されていると感じる。	
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	15					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12				3	
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	15					
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	2				
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	2				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	10	3			2	■こどもの悩みだけでなく、親として何をすべきかなど、様々な悩みに対応してもらっている。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	15					■日々の成長や現在困っていることなど様々な悩みに対応してもらっている。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15					■直接会える時は勿論、LINEで助言をしてもらっている。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15					■訪問支援員だけでなく、他職員からも支援を頂いている。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14				1	
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					■ご多忙の中、報告書だけでなくLINEなどで相談に乗ってもらえる。
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	14				1	■保育園の先生ともよくコミュニケーションをとって子どもに合った支援をしてもらっている。

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	14	1			■保育園のお迎え時に訪問支援についての報告を受けるので、話し合いが行われていると感じる。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	15				■毎回LINEで報告書を受け取り、直接会えた時には更に細かく助言をいただいている。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	2		2	
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	11	1		3	
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	2			担当の方を割と早く覚えなついている様子。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	14	1			担当の方を割と早く覚えなついている様子。
	28	事業所の支援に満足していますか。	14	1			ちょっとした悩みも親身になって話を聞いてくれる。もっと早く訪問支援を利用すべきだったと感じる。いつも細やかな支援をいただいています。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日		令和 7年3月1日	
児童発達支援センター 輝なっせ		利用児童数		令和 7年 3月1日 回収数 9	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	7	2		<ul style="list-style-type: none"> ■ 少しずつ、取り組みがプラスになってきたところ。 ■ ひとり一人に合わせた支援内容を助言して頂けるので取り入れてみている所。 ■ 具体的に助言や支援方法を伝えてくださるので取り入れやすい。 ■ 訪問して頂いたのが1回だけなので、まだ具体的な話までではできていない。 ■ 助言や説明は必要なかったの聞いていません。 	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	7	2		<ul style="list-style-type: none"> ■ 保育園の時から本児に関わってくださっている事に感謝。 ■ より専門的で具体的な助言を頂けます。 ■ 知識、技術は十分にあられると感じており、勉強になります。 ■ 支援も必要ではなかったのどちらともいえません。 	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	6	3		<ul style="list-style-type: none"> ■ 現在進行形で困っている内容を質問させて頂けるので助かります。 ■ 質問に対して明確に答えてくださる他、いくつかの答えを示してくださるので助かります。 ■ 質問していません。 	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	5	4		<ul style="list-style-type: none"> ■ 1回だけなのでどちらともいえない。これから継続していきたい。 ■ 色々な支援方法を一人一人に合わせて試して見ることができています。 ■ アドバイスを頂て実践する努力をしています。保育をしながらなのでアドバイスを聞くタイミングを逃す時があります。 ■ 次はこんな支援や関わりをしてみよう次に生かすことができています。 ■ 学校としては、現在課題や困りごとはなく、必要なところは対応している途中です。 	
5 事業所からの支援に満足していますか。	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ■ 行事等にも、配慮した対応をいただいています。 ■ 保育所等訪問支援時の様子を書面にして下さるので、振り返りもしやすい。 ■ 訪問して頂いたことで、子どもたちは集中して取り組んでいます。以前の訪問の方にも色々教えていただいたので、引き続き色々教えて頂くと助かります。 ■ 支援を受けておりません。 	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校としては現在事業所の方に助言をいただくような事はなく、評価しづらいものがあります。 ■ いつもありがとうございます。 ■ いつもアドバイス頂き、ありがとうございます。その時の状況に応じた支援について一緒に考えて頂き感謝しております。園生活も残り4か月ですが、今後とも宜しくお願い致します。 ■ いつも適切に私たちの保育にアドバイスを頂きありがとうございます。 ■ 今後とも宜しくお願い致します。 ■ I先生の訪問後、ご家族にも授業を見て頂く機会がありました。頑張っている姿を見て頂き、本人も嬉しそうでした。落ち着いている時には一生懸命学習に取り組むことができている。土日の生活に不安はありますが、ご家庭と共に、安心して楽しい学校生活が送れるように支援していきたいと思っております。 				<p>専門性を高める事は勿論、提案や助言、説明がより具体的で分かりやすく伝わる様に、今後もスキルを高め、こどもさんの成長に取ってより良い支援が出来るように努める。</p>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター 輝なっせ		公表日		令和 7年 3月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環 境 制 ・ 整 運 備 営 ・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。		<input type="radio"/>	必要に応じて作成し、見本となる物を提示はしているが、活用のしやすさにかける	こどもが生活する環境で、先生方が取り入れやすい教材の準備を更に豊富にする必要がある。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		<input type="radio"/>	現段階で配置できる職員で、できる限りの対応は行っている。	困り感に応じた対応、多職種連携ができるような配置が必要。	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		<input type="radio"/>	業務改善には常に努めている。	広く職員が参画できるような働きかけができていない為、多面的な意見を求める働きかけが必要。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者等の意向を把握し、できる限り対応できるように努めている。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		従業員にも意見を求め、できる限り改善できるように努めている。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	他機関と連携を行い、情報の共有や、手法について、意見を求めている。	第三者による外部評価機関を活用して評価を行っていない為、繋がっている機関に評価を頂きながら改善する。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		適宜、研修を受講できる機会は設定されている。		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		インテーク、アセスメントを丁寧に行い、見立てた上で計画を作成している。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	<input type="radio"/>		訪問先、ご家族、本人と出来る限り意向を聞きとり、調整を行っている。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		ツールや行動観察、状況の共有など関係機関に聞き取りしながら、状況を確認している。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインを基に、支援計画内容を設定している。	常に、検討しながら改善していく。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		<input type="radio"/>	配置が1名の為、個々での動きとなっている。適宜、関係者へ情報収集、共有を行っている。	療育で関わっている職員に出来る限り、状況を確認し、方針を共有する。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		<input type="radio"/>	場合によっては、その日に時間が取れない事もある為、書類やデータ、別日に行うなど、都度、状況に合わせて対応している。		
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		訪問先の理念や考え方を尊重している。			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	<input type="radio"/>		毎回、記録を取っている。	記録の取り方に工夫が必要。		

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		適宜、支援の方向性についての共有を行っている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		出来る限り、担当者が集まる会議へ参加している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		適宜、情報の共有を図っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	<input type="radio"/>			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		常に参加させて頂いている。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		できる限り、直接や連絡を通して課題の共有を図っている。	
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		研修への案内ができていない。 研修参加への向き、不向きもある為、慎重に検討したい。	研修についての情報提供を積極的に行う。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		ご利用開始前には、丁寧に説明を行っている。	より丁寧に説明ができる様に常に意識していく。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	<input type="radio"/>		訪問前には、事業の説明と目的を説明している。	より丁寧に説明ができる様に常に意識していく。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		アセスメントを重視している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		計画を確認し、サービスを開始している。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		適宜、相談には対応している。	レスポンスを重視する必要がある。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		開催出来ない。	開催予定を立てる。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		適宜、相談には対応している。	
訪問先施設への	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		SNSでの発信はできていない。	ホームページ等に活動を報告する。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		個人情報には十分留意している。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		情報伝達しやすい物を活用している。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	<input type="radio"/>		適宜、相談に対応している。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	<input type="radio"/>		振り返りのしやすい方法を工夫して行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	<input type="radio"/>		振り返りを通しての、報告書を活用し、共有している。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報には十分留意している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。		○	助言等を行っているが、活用しやすい物か、訪問先が理解できているかはわからない。	常に、検討しながら改善していく。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		適宜、委員会と研修を行っている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		あった場合には記載するように努めている。	

事業所名

児童発達支援センター 輝なっせ

支援プログラム

作成日

令和7 年

1 月

31 日

法人（事業所）理念		法人理念 感・共・和					
支援方針		私たち児童発達支援センター輝なっせの発達支援“トライアングル” 1. 身辺自立、2. 就学支援、3. 家族支援 ～発達支援を通して「失敗や成功を繰り返す場所」であり、ご家族と共に、子どもさんが自身で「気づく力」、「考える力」、「やろうとする力」、「自分を認める力」を育てる場所～					
概要		児童発達支援センター輝なっせでは、同年代でのクラスに分かれ、発達段階や年齢に応じて「5領域」（言語・コミュニケーション、健康・生活、運動・感覚、人間関係・社会性、認知・行動）に基づいた支援を実施し、子どもが持つ特性や課題に寄り添いながら本児の「強み」を引き出し、成功体験や自信に繋げる支援を進めます。また、家族支援として親子療育を積極的に取り組みます。子どもさんの特性の理解や関わり方等を保護者と共に学び・考え、子育てをする「伴走型支援」に努めます。それぞれの領域における主なねらい、プログラム例、支援内容は以下の通りです。					
営業時間		8 時	30 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり
項目		ねらい		プログラム例		支援内容例	
本人支援	健康・生活	・健康で安全な生活の基盤作り ・身辺面での自立した日常生活を送る力の養成 ・健康管理や衛生習慣への意識の向上		・手洗い・歯磨き・トイレの自立・着替えの実践練習 ・食事のマナーや道具の使い方の指導 ・身体のリズムを整えるためのリラクゼーション活動		・基本的な生活習慣の形成（食事、排泄、衣服の着脱、清潔保持等） ・自己管理能力の向上 ・健康的な体づくり	
	運動・感覚	・運動能力と体力の向上 ・感覚刺激への適応力の育成 ・自分の身体を意識的に使う力の発達		・ボール遊びやリズム運動 ・ビーズ通しや積み木などの指先を使う遊び ・トランポリン、大型ブランコやバランスボールを活用した感覚統合活動 ・感触遊び		・粗大運動（体全体を使う運動）の強化 ・微細運動（手先や指先を使う活動）のスキル向上 ・感覚統合の促進 ・感触遊び（小麦粉粘土・スライム・かんでん・絵具等）	
	認知・行動	・考える力や理解力の向上 ・自分で目標を達成する経験を積む ・状況に応じて適切な行動を選べる力を育成		・パズルや迷路を使った課題解決遊び ・簡単なルールのあるゲーム ・「待つ」「止まる」「始める」など行動の制御を学ぶ遊び		・注意力や集中力の向上 ・問題解決能力の育成 ・自発的な行動の促進	
	言語 コミュニケーション	・言語理解力と表現力の向上 ・他者との意思疎通を楽しむ力の育成 ・社会的な場面でのコミュニケーションスキルの土台作り		・絵本の読み聞かせや指さし遊び ・音楽やリズムに合わせた言葉遊び ・質問や応答の練習（例：「これ何？」に答える） ・おやつやり取り		・言葉を覚えるための語彙や発話の促進 ・表情や身振り手振りを使った非言語コミュニケーションの強化 （必要に応じてPECSやTEACCHプログラムを使ったコミュニケーション） ・聴く力、順番を守る力の育成	
	人間関係 社会性	・集団活動を通じて協力する力を育む ・社会的なルールやマナーを学ぶ ・他者の気持ちを理解し共感する力を育成		・グループ活動（例：共同製作、リズム遊び） ・ごっこ遊びや役割遊び ・社会的スキルを学ぶ場面練習（挨拶、ありがとうと言う）		・他者と関わる力の育成 ・感情のコントロールと自己表現のサポート ・ルールや順番を守る力の習得	
家族支援		・親子療育・相談・勉強会（ペアレントトレーニング、サポートブック、就学について等）・兄妹児支援等 ・交流会（同じ年代の保護者同士の茶話会等） ※上記を通して、家庭での様子伺い、困り感、関わり方（伝え方）や就学等ライフステージに応じたサポート、助言等を行う。		移行支援		・移行先になる関係機関等への情報の共有を行う事で移行がスムーズに行えるようサポートする。また、就学に向けて学校での生活環境を設定した様々な練習、見学等、丁寧に保護者と一緒に取り組む。	
地域支援・地域連携		・必要に応じて、現在通園している園、療育先、学校、相談事業所、自立支援協議会、市町等との連携を図り、情報共有することで、子どもさんの理解を深め、ライフステージの変化に対応できるよう努める。		職員の質の向上		・事業所、法人内研修（OJT）・事業所、法人外研修（OFF-JT）	
主な行事等		・企画型（社会活動：できるもん年2回程度）・その他					